



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所
コード番号 6495 URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長
四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

(氏名) 西田憲司
(氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5575

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,089	△12.4	36	—	30	698.7	4	—
28年3月期第2四半期	2,384	4.2	△7	—	3	△92.6	△0	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	0.09	—
28年3月期第2四半期	△0.01	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,439	3,710	57.6
28年3月期	6,471	3,748	57.9

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 3,710百万円 28年3月期 3,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	4,750	△7.4	104	28.3	93	38.8	84	△63.4	1.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	48,849,935 株	28年3月期	48,849,935 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	1,047,708 株	28年3月期	1,047,708 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	47,802,227 株	28年3月期2Q	47,802,227 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果、雇用情勢の安定を背景に、緩やかな回復基調にありましたが、中国を始めとするアジア新興国・資源国等の経済停滞や英国のEU離脱など、海外経済の不確実性の高まりにより、わが国の景気を下振れさせるリスクが高まっており、先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当第2四半期の売上高は、LPガス容器用弁については販売価格の見直しにより販売単価は改善したものの、需要が伸び悩んだこと、および競合他社との競争が激しくなったことにより前年対比で減少しました。また、LPガス鉄鋼製装置用弁は、造船市場が当初予想以上に冷え込んだため、海上用輸送用弁が減少したことにより前年対比で減少しました。

以上により、売上高は2,089百万円(前年同期比12.4%減)となりました。

損益面につきましては、主要原材料の黄銅材の価格が安定したこと、および原価低減を図るための諸施策(工場の稼働率安定向上を目指し当期より平準化生産を実施、また、部品の内製化促進等を行いました。)により売上高総利益率は前期13.9%から当期18.4%と4.5ポイント改善し、営業利益は36百万円(前年同期は営業損失7百万円)、経常利益は30百万円(前年同期比698.7%増)となり、特別利益に役員退職慰労引当金戻入額17百万円、そして特別損失に事業整理損23百万円を計上したことにより、四半期純利益は4百万円(前年同期は四半期純損失0(零)百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、131百万円減少して2,818百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加276百万円による一方で、現金及び預金の減少111百万円および受取手形及び売掛金の減少254百万円並びに原材料及び貯蔵品の減少27百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、99百万円増加して3,620百万円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加80百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、31百万円減少して6,439百万円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末に比べて、50百万円増加して1,422百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加149百万円による一方で、支払手形及び買掛金の減少67百万円および1年内償還予定の社債の減少20百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、44百万円減少して1,306百万円となりました。これは主に、退職給付引当金の減少10百万円および役員退職慰労引当金の減少22百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、6百万円増加して2,729百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、38百万円減少して3,710百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により47百万円減少したためです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の57.9%から57.6%となりました

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、46百万円増加(前第2四半期累計期間は155百万円の減少)して376百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は46百万円(前第2四半期累計期間は134百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少額415百万円により増加する一方で、たな卸資産の増加額230百万円、割引手形の減少額159百万円および仕入債務の減少額67百万円により減少するものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は31百万円(前第2四半期累計期間は86百万円の減少)となりました。これは主に、定期預金の減少額158百万円により増加する一方で、有形固定資産の取得による支出125百万円により減少するものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は61百万円(前第2四半期累計期間は203百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入れによる収入320百万円、長期借入れによる収入100百万円により増加する一方で、短期借入金の返済による支出170百万円、長期借入金の返済による支出114百万円および配当金の支払額46百万円により減少するものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月6日発表の「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	579,939	468,788
受取手形及び売掛金	1,161,202	907,162
商品及び製品	767,389	1,043,719
仕掛品	63,451	45,440
原材料及び貯蔵品	333,192	305,393
その他	47,136	50,005
貸倒引当金	△1,631	△1,631
流動資産合計	2,950,680	2,818,878
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	120,573	115,132
構築物(純額)	32,383	44,300
機械及び装置(純額)	167,667	185,614
車両運搬具(純額)	483	779
工具、器具及び備品(純額)	6,238	9,167
土地	2,506,900	2,506,900
リース資産(純額)	1,488	819
建設仮勘定	4,957	85,793
有形固定資産合計	2,840,693	2,948,507
無形固定資産		
投資その他の資産	39,231	32,185
投資その他の資産		
投資有価証券	186,493	193,913
破産更生債権等	3,750,750	3,262,900
その他	450,743	442,451
貸倒引当金	△3,747,003	△3,259,153
投資その他の資産合計	640,983	640,112
固定資産合計	3,520,908	3,620,805
資産合計	6,471,588	6,439,683

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	640,515	572,967
短期借入金	160,000	309,999
1年内返済予定の長期借入金	224,570	214,910
1年内償還予定の社債	20,000	-
未払法人税等	2,687	7,868
賞与引当金	49,842	53,335
製品補償引当金	13,400	3,996
その他	260,929	259,842
流動負債合計	1,371,944	1,422,919
固定負債		
長期借入金	166,920	162,170
再評価に係る繰延税金負債	735,183	735,183
退職給付引当金	367,853	357,213
役員退職慰労引当金	62,988	40,065
その他	18,428	11,951
固定負債合計	1,351,373	1,306,584
負債合計	2,723,317	2,729,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,993,096	1,993,096
利益剰余金	229,370	185,849
自己株式	△157,214	△157,214
株主資本合計	2,065,252	2,021,731
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△309	5,120
土地再評価差額金	1,683,328	1,683,328
評価・換算差額等合計	1,683,018	1,688,448
純資産合計	3,748,271	3,710,180
負債純資産合計	6,471,588	6,439,683

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,384,351	2,089,156
売上原価	2,051,993	1,704,966
売上総利益	332,357	384,190
販売費及び一般管理費	339,978	347,274
営業利益又は営業損失(△)	△7,620	36,916
営業外収益		
受取利息	103	30
受取配当金	1,352	1,900
不動産賃貸料	4,289	3,857
スクラップ売却益	1,066	779
受取和解金	600	-
損害保険金収入	17,817	-
その他	3,701	2,499
営業外収益合計	28,931	9,068
営業外費用		
支払利息	7,415	4,276
社債利息	228	76
手形売却損	7,112	6,449
訴訟関連費用	-	3,228
その他	2,792	1,906
営業外費用合計	17,548	15,937
経常利益	3,762	30,046
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	-	17,279
特別利益合計	-	17,279
特別損失		
固定資産除却損	0	0
事業整理損	-	23,226
特別損失合計	0	23,226
税引前四半期純利益	3,762	24,099
法人税、住民税及び事業税	4,275	4,412
法人税等調整額	-	15,405
法人税等合計	4,275	19,817
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△512	4,281

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,762	24,099
減価償却費	33,593	38,668
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	△487,849
賞与引当金の増減額(△は減少)	△56	3,493
製品補償引当金の増減額(△は減少)	-	△9,403
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,644	△10,639
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,368	△22,922
受取利息及び受取配当金	△1,456	△1,931
支払利息	7,643	4,352
受取和解金	△600	-
固定資産除却損	0	0
事業整理損	-	23,226
売上債権の増減額(△は増加)	44,057	415,561
たな卸資産の増減額(△は増加)	28,137	△230,519
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,247	△67,587
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,212	△26,458
割引手形の増減額(△は減少)	111,321	△159,031
破産更生債権等の増減額(△は増加)	-	487,849
その他	△40,467	△22,754
小計	147,200	△41,847
利息及び配当金の受取額	1,442	1,947
利息の支払額	△7,200	△3,966
和解金の受取額	600	-
法人税等の支払額	△7,430	△2,312
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,612	△46,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,430	△125,645
無形固定資産の取得による支出	△3,487	△550
投資有価証券の取得による支出	△50,982	△436
定期預金の増減額(△は増加)	△13,000	158,000
その他	180	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,720	31,547
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	60,000	320,000
短期借入金の返済による支出	△89,900	△170,001
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	△146,100	△114,410
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	-	△46,459
その他	△7,504	△7,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△203,504	61,480
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△155,611	46,849
現金及び現金同等物の期首残高	566,349	329,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	410,737	376,788

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。